

我がまちづくり（いしかわ地域の魅力創造まちづくり事業）

## 「サイクルタウン鶴来」の実現

鶴来青年クラブ

### 1. 活動の目的

#### ◆地区概要

手取川が形成する扇状地の頂部に位置する鶴来地区は、旧鶴来町の中心として栄えてきた。しかし、金沢都市圏の拡大によって徐々に活力を失いつつある。特に平成 17 年の白山市発足や平成 22 年の石川線中鶴来駅・加賀一の宮駅廃止は、鶴来地区中心部の立地的優位性を低下させた。危機感を抱いた住民は、まちづくり活動の実行組織「まちづくり協議会」を発足させた。現在では、この協議会が中心となり、地元商工会や観光協会を巻き込んだまちづくり活動が展開されている。この協議会に参加する鶴来青年クラブは、自転車による来訪者を増やし、まちとしての価値を高めるため、「サイクルタウンプロジェクト」を実行することとした。

#### ◆自転車のまち

鶴来地区西側を流れる手取川には自転車道が整備され、良好なサイクリングルートとなっている。週末にはロードレーサーから家族連れまで幅広い利用者がいる。また近年では、都市交通の手段や余暇としての自転車の評価が高まっており、自転車利用環境の向上に向けた取り組みは、日本に限らず世界的に広く行なわれつつある。金沢市も例外ではなく、街なかでの自転車貸し出しサービスが導入されており、自転車利用の機運が高まっている。北陸鉄道石川線では、自転車持ち込み可能な車両を運行しており、自転車で鶴来を訪れることも可能である。このような状況から、自転車を利用した来訪者獲得の取り組みは、継続していくことで効果を上げられると考えられる。



▲打合せ風景

### 2. 活動概要

#### ◆駐輪場整備

駐輪場は、自転車を駐輪するのみならず、休憩スペースとしても計画することにより、短時間から比較的長時間の利用まで対応でき、歩行者の利用も可能となるなど、幅広い利用に繋がることを想定している。

#### ◇実施概要

①駐輪スタンドの設置 …… 実施日：4/9・11/6

地区中心部の 2 箇所で開催場整備を行なった。駐輪スタンドは、主に立てかけ型と吊るし型の 2 種類ある。地元住民の需要もあると思われる駐輪場については立てかけ型を採用し、来訪者による利用を狙った箇所では吊り下げ型を設置した。



▲スタンド設置作業

②駐輪スタンドの試作 …… 実施日：9/27

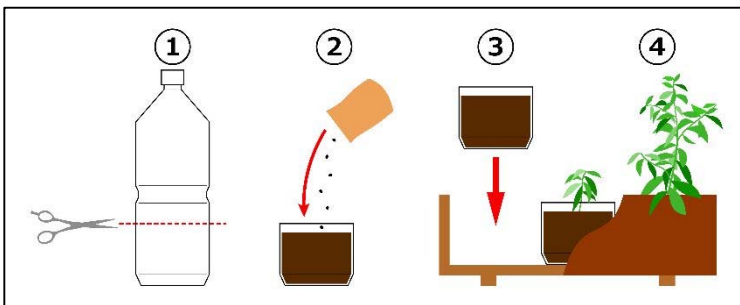
4月の活動では、実験的取組みとして市販の駐輪スタンドを用いた。しかし、耐久性能の面で不安があるため、より丈夫なものが必要であると判断し、工事現場の足場で用いられる単管を使用したスタンドを試作した。11月の活動で仮設置を行なったが、冬期は雪の影響で自転車利用の需要が低いため、2015年春から本格的に設置する。



▲駐輪スタンド試作

③プランターの設置 …… 実施日：4/9・11/6

駐輪場には植物を植える。これは、「管理された空間」としての安心感を利用者に与える狙いがある。将来的には、背の高い木の植栽によって緑陰を作り、休憩する空間としての充実を図る計画である。プランターは、管理の容易さやデザインを考慮し、木製のプランターを製作することとした。



▲自作プランターとその運用方法



#### ◆自転車ツアー企画とガイドマップ作成

自転車を利用したまちづくりの将来像として、自転車による街なか周遊の実施を目指している。その足がかりとしてモニターツアーを実施し、周遊ルート設定に必要な情報を集めた。

#### ◇実施概要

##### ①自転車モニターツアー企画 …… 実施日：4/19

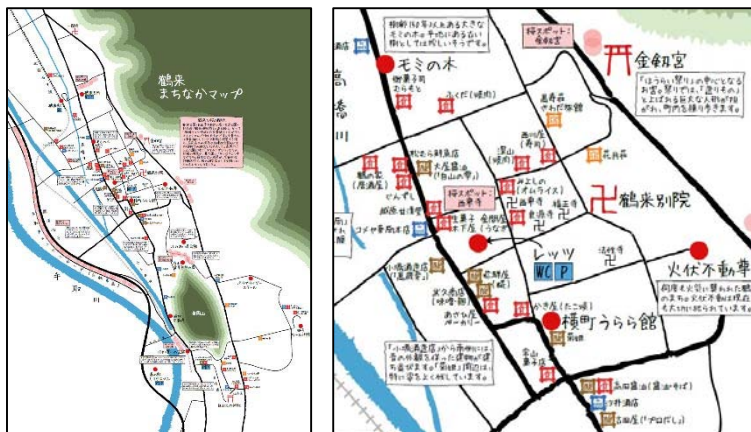
自転車によるまちめぐりのモデルコースを策定することを目標に、ボランティアガイドを行なう NPO に協力していただき、モニターツアーを実施した。モニターには、金沢工業大学で都市計画を学ぶ学生や、その学生と学会を通して関係する都市計画の専門家を中心に募集した。ツアーは2グループに分かれて行動し、順番は前後するものの同じ箇所を見て回った。各グループの先頭にはガイドが1名おり、各ポイントに着くと自転車を止めて案内を行なった。また、ツアーではフォトコンテストとアンケートを実施し、参加者が注目したスポットや利便性・安全性に関する意見など、ルート策定で必要と思われる情報を収集した。



▲モニターツアーの実施風景

##### ②ガイドマップ作成 …… 実施日：7/4・11/6

自転車でのまちめぐりに利用するガイドマップを作成するため、街なかの資源をまとめたマップを作成した。今後はこの地図をもとに、設定するルートに合わせた情報の追加を行なっていくとともに、見やすさを重視したデザインを検討する。



▲作成した街なかガイドマップ

### 3. 成果

#### ◆駐輪場整備

駐輪施設の設置は、自転車で巡れるまち「サイクルタウン鶴来」の実現に向けた基盤的取組みで、今後の活動の布石になるものである。本事業での取り組みは地域の広い範囲で知られるようになっており、来訪者増加に向けた具体的活動として、地域の刺激になっているとの声がある。

#### ◆自転車ツアー企画とガイドマップ作成

モニターツアーで実施したアンケートや写真コンテストにより、地区内の社寺や伝統的建造物に対する関心が高いことが分かった。このことから、街なか周遊のルート策定でテーマ別でのルート設定を行ったり、マップに載せる情報の選別を行なうなど、具体的な活動展開を計画することが出来た。また、周遊時の利便性や安全性についての情報も集まったことから、走行環境(主に交通安全関連)の課題を明確にすることができた。モニターツアーでは、建物の意匠や裏道など、住民が気に留めなかった地域資源の発見もあった。それをマップとしてまとめたことで、地域内の観光資源を改めて確認することができた。

### 4. 課題と展開

#### ◆駐輪場に関する課題

##### ①利用者の増加

今年度は拠点づくりを中心に行ってきたが、今後はその存在を周知するため、駐輪場にサインを設置し、誘導する必要がある。その際、街並み景観を壊すことが無いよう、デザインには十分に配慮する必要がある。また、モニターツアーでのアンケート結果をもとに、来訪者の動線を意識した拠点整備を行なう必要がある。平成27年春には、来訪者の需要がある白山比咩神社などで駐輪施設を設ける予定である。

##### ②設備の充実

駐輪場は休憩空間としても利用できるようにするため、休憩空間としての整備を進める。その際、将来的に緑陰を設けることも踏まえ、植物の選定や各設備の配置を具体的に計画する必要がある。

#### ◆ガイドマップ作成に関する課題

今年度は、街なかマップ(地域資源マップ)の作成まで行なったが、ルート策定や時間設定の作業では、ガイドとしての経験不足から、踏み込んだものを作ることが出来なかった。この点については、地元でボランティアガイドを行なうNPOとの協力が必要となる。今後は、地域内の他団体と連携をとり、一体となって活動を行なう。

また、マップを使った情報発信は、紙媒体だけでなく電子媒体も積極的に利用する。

#### ◆その他

鶴来では、地域の活性化に向けて、各店舗や団体がそれぞれ様々に活動している。しかし、それぞれの取組みが繋がりを持っていないため、方向性はバラバラである。本事業をきっかけに、様々な団体の活動を繋げながら活動を行なうことで、「まち」としての個性・価値は強まるということに気付かされた。今後は、関係する諸団体や店舗を巻き込み、街全体で相乗効果が出るような取組みとして活動したい。